

小麦「バンドウワセ」の準奨励品種採用

1. 試験のねらい

本県小麦作付面積の大半を占める「農林61号」は成熟期が遅く、小麦-水稲、小麦-大豆の作付体系が難しい。また、倒伏しやすく、成熟期が梅雨期にあいやすいことから、低アミノ麦、穂発芽粒、硝子質粒の発生による品質低下を招きやすい。一方、早生の小麦として「フクホコムギ」があるが、加工適性の問題からほとんど作付けされていない。このような状況の中、実需者からは高加工適性、生産者からは良質早生品種の要望が近年ますます強くなっている。

そこで、早生、強稈、多収で製粉・製麺適性の優れる品種を選定し、県内小麦生産の高品質安定多収化を図るため、本品種を麦類奨励品種決定調査で検討した。

2. 試験の経過

本品種は農林水産省農事試験場（現農業研究センター）において、早生、強稈、多収品種の育成を目標とし、昭和43年度に「関東66号」を母、「ヒヨクコムギ」を父として人工交配を行い、以後派生系統育種法により選抜固定を図ってきた系統である。昭和54年度「関東100号」の系統名を付し、平成2年11月に小麦農林135号として農林登録され、「バンドウワセ」と命名された。

本県においては、昭和54年度から配付を受け、奨励品種決定調査予備調査、本調査、現地調査等で各種特性、地域適応性を検討した結果、成績が良好であったので、平成3年11月に準奨励品種に採用された。

3. 特性の概要

「バンドウワセ」は「農林61号」と比較して、

- (1) 出穂期では5～8日、成熟期では3～6日早い早生種である。
- (2) 株はやや閉じ、草姿は良い。短稈で、稈はやや太い。褐ふで、穂長は同程度、穂数はやや少～同程度である。
- (3) 耐倒伏性は優り、やや強である。
- (4) 穂発芽性は同程度の難である。
- (5) 収量性は同程度～多収で、特に多肥で多収を示す。
- (6) 千粒重は同程度～やや大きく、し重は同程度である。
- (7) 粒色は褐色で、やや淡い。粒形、粒大は同程度である。
- (8) 外観品質は同程度で、中の中である。
- (9) 目黒粒は若干発生しやすい傾向にある。しかし、その発生率は極めて低く、実用上問題ない。
- (10) 製粉適性は、製粉歩留、ミリングスコアがやや高く、「農林61号」にやや優る。
- (11) 製麺適性は、麺の色相がやや優れ、総合的には「農林61号」と同程度～やや優る。

4. 普及地帯および栽培上の留意点

- (1) 普及対象地域は県南部地域とし、普及見込み面積は2,000haである。
- (2) 凍霜害を受ける危険性が高いので、極端な早播は避け、適期播種に努める。
- (3) 施肥量は「農林61号」の2～3割増とし、極端な多肥栽培は避ける。
- (4) せき薄地では肥切れによって短稈になり過ぎないように、また、穂数不足にならないよう肥培

管理に注意する。

(5) 極端に刈遅れると粒色の低下する場合がありますので、適期収穫を行う。

5. 成果の要約

早生、短強稈、多収で、製粉・製麺適性の優れる「バンドウワセ」を準奨励品種として採用することにより、本県における小麦生産の高品質安定多収化を図ることができる。

(担当者 育種部 伊藤 浩)

表-1 農業試験場における成績

品 種 名	出 穂 期	成 熟 期	稈 長	穂 長	穂 数	耐 寒 性	倒 伏	うどんこ病	子 実 重	千 粒 重	外 観 品 質
	月日	月日	cm	cm	本/m ²				kg/a	g	
バンドウワセ	4.23	6.18	86	9.6	491	中	やや強	やや弱	45.4	35.2	中中
農林61号	4.30	6.22	100	9.5	520	中	やや弱	やや弱	39.3	32.3	中中~中下
フクホコムギ	4.26	6.17	90	9.8	466	中	やや強	極強	43.6	31.8	中下
シラネコムギ	5. 3	6.22	96	9.6	458	強	強	やや強	44.1	33.5	中中

注1. 農試本場(宇都宮)、奨励品種決定調査、昭和61~平成2年度の平均。

2. 10月25日播種、畑条播栽培、畦幅60cm、播き幅9cm、播種量a当たり0.4kg。

3. a当たり堆肥100kg、N:0.4~0.6kg、P₂O₅:0.5kg、K₂O:0.8kg。

表-2 県南におけるバンドウワセ試作結果(平成3年産)

試作場所	出穂期 月日	成熟期 月日	稈長 cm	実収量 kg/a	検査 等級	製粉歩留 %	茹麺官能 検査
小山市	4.19	6.11	81	456	1等	72.1	70.4
大平町	4.23	6.12	81	412	1等	71.9	70.1
佐野市	4.23	6. 9	80	342	1等	71.6	70.8
足利市	4.20	6. 8	87	480	1等	71.9	70.2
《基準》					(1等)	71.0	70.0

注1. 栽培面積は約40a。

2. 製粉歩留、茹麺官能検査は、日本穀物検定協会中央研究所による。

3. 基準は群馬県産農林61号。